

# 2024年9月理事会議事録

日 時：2024年9月23日（月）14：00～18：10

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：石川日出志・大竹幸恵・宮本一夫・青柳泰介・足立拓朗・石井淳平・一瀬和夫・岩本 崇・植田 真・大坪志子・岡寺 良・忍澤成視・黒尾和久・黒澤 浩・澤田秀実・高倉 純・高田祐一・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・山崎和巳、監事：谷口 榮・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

進 行：黒澤 浩

議 長：石川日出志

黒澤理事から、本日の出席者は26名（うち理事24名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

## 会員の訃報について

水本理事から、栃木県の森田久男会員が1月11日、東京都の佐々木克典会員が2月28日、茨城県の諸星政得会員が8月26日、千葉県の上木武彦会員が9月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

## 議案第787号 退会会員の承認について

水本理事から、千葉県の\*会員、東京都の\*会員、神奈川県の新井\*会員、石川県の\*会員、愛知県の\*会員、滋賀県の\*会員、島根県の\*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

## 議案第788号 2024～2025年度協会賞選考委員の選出について

澤田理事から、日本考古学協会賞選考委員について、①理事会からは佐藤副会長の理事退任に伴い宮本副会長が担当すること、②委員1名が任期満了により退任することから、新たに1名を選任したいとの提案があり、新任1名については非会員であるが、規定に会員の定めはないため、原案通り承認された。また委員名簿については、これまでと同様に原則非公開とする方針が確認された。

## 議案第789号 新入会員の入会資格審査委員の選任及び審査日程の承認について

藤野理事から、2025年度入会の新入会員（正会員）の入会資格審査日程並びに入会資格審査委員候補者14名の提示があり、原案通り承認された。

## 報告第1023号 協会公式サイトリニューアル業務の進捗状況について

大竹副会長から、公式サイトリニューアル業務の委託業者との契約にあたり、添付書類として仕様書・CMS一覧・業務推進体制表・個人情報保護に関わる書類2点・定期協議会組織表を整えて契約を締結し、既に業務を開始しているとの報告があり、了承された。

#### 報告第1024号 2024年度島根大会の実施要項について

2024年度島根大会実行委員会の岩本理事から、「大会実施要項」に基づき、日程及び全体進行について説明があり、続けて藤沢理事から理事の役割分担について確認があり、了承された。

#### 報告第1025号 公開シンポジウムの終了について

山崎常務理事から、9月8日（日）に明治大学で開催した公開シンポジウム「考古学が解明する邪馬台国の時代」について、申込数や資料集の残部数、新聞の掲載記事が提示され、続けて岡寺理事から、アンケート結果の概要が報告された。続けて黒澤理事から、情報共有・発信等の実行委員会体制について課題があげられた。

#### 報告第1026号 英文機関誌編集委員会の2025年度科学研究費申請について

宮本副会長から、来年度の科学研究費申請について、国際交流委員会の協力を得て、アジア四学会合同講演会のような国際的なシンポジウムを開催し、その成果を英文機関誌『Japanese Journal of Archaeology』で公開する計画で申請したとの報告があり、了承された。

#### 報告第1027号 2027年度大会の開催について

岡寺理事から、2027年度大会は山梨県で開催予定であるとの説明があり、了承された。

#### 報告第1028号 各委員会等における2024年度会議等報告について（その5）

##### 1 広報委員会の報告

大竹副会長から、8月14日（水）・8月28日（水）・9月11日（水）に委員会をオンラインで開催し、①カフェde考古学2024第3回の開催報告があり、戦争遺跡のテーマについて、来年は戦後80年であることから来年度の取り上げ方について意見交換を行った。②公式サイト運用指針について検討し、運用指針が定まった後に「公式サイト運営内規」を見直すこととした。③公式サイトリニューアルに伴う作業中に、現公式サイトの「問い合わせフォーム」「情報提供フォーム」について入力した情報が収集されていることが確認されたことから、Web掲載を中止し、新公式サイト公開まではGoogleフォームで作成し対応する。④新公式サイトについて、i) デザイン案を協議した。ii) 記事の掲載手順やアクセス管理について検討し、公式サイトのアクセス権は災害等の非常時に備えて協会事務所以外に2箇所設置予定である。iii) クレジットカードの決済システム候補、連携するSNSの種類を検討を行った。iv) 委託業者から提案のあった公式サイト上への広告掲載について、基本設計には組み込むが、今後方針を検討した上で運用することとする。v) 会員ページのID・パスワード設定について、セキュリティ対策と会員の利便性・事務局の管理負担等の観点から協議している。⑤2024年度島根大会のプレスリリースについて実行委員会と協議して文案を作成したとの説明があり、了承された。

## 2 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告

黒澤理事から、8月14日（水）に委員会をオンラインで開催し、「機関誌『日本考古学』投稿規定」第8条の別刷数について50部贈呈を30部とすることとしたとの報告があり、了承された。

## 3 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

黒尾理事から、7月21日（日）に委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①委員会体制について協議し、委員長に谷川章雄委員、副委員長に大下 明委員を選出した。②小学校教科書への旧石器時代の記述の再掲載について、次期の学習指導要領の改訂スケジュールを確認し、日程に合わせた活動計画を検討した。③3学協会連携について、日本旧石器学会大会に続き、日本人類学会大会でポスターセッションを行う予定である。④公式サイトリニューアルにあたり掲載するコンテンツの内容を協議したとの報告があり、了承された。

## 4 研究環境検討委員会の報告

石井理事から、委員会を6月18日（火）にオンラインで、8月17日（土）に対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①委員会体制について協議し、委員長に森原明廣委員、副委員長に紺野英二委員を選出した。②2024年度島根大会ポスターセッションについて検討し、第90回総会時のポスターを修正して対応することとした。③森原委員長が毎日新聞社からの依頼で取材対応を行った。④考古学研究会と合同で行っている大学アンケートについて整理した上で考古学研究会と共有し、ポスターセッションや共同でのセッション等を行い公開する予定であるとの報告があり、了承された。

## 5 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

大坪理事から、9月21日（日）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡について、5・6街区の確認調査の見学等を求める。②東京都中央区浴恩園跡について、情報収集して対応を検討する。③小山市琵琶塚古墳の整備事業における自然破壊に関する質問状が提出され、情報を確認の上、回答案を検討する。④広島市広島城三の丸地区について、面談や現地見学等を行う。⑤徳島県徳島市徳島城について開発計画があり、状況を注視する。⑥徳島県海陽町多良古墳群について、保存活用を求める要望書の発出を検討する。⑦北九州市旧門司駅遺構について、イコモスのヘリテージアラートを尊重する姿勢の表明方法を協議した。⑧カフェde考古学2024第3回の開催後のアンケート結果が報告され、来年度の計画を協議したとの報告があった。琵琶塚古墳の質問状については、埋蔵文化財保護対策委員会で対応することとし、イコモスのヘリテージアラートを支持する会長コメントを発出することで了承された。

## 6 『日本考古学年報』76・77の進捗状況について

大坪理事から、今年度刊行の『日本考古学年報』76の進捗状況及び刊行費についての報告があり、77については執筆者選定が未連絡の理事に改めて執筆者の連絡が求められた。

## 7 陵墓の報告

日高理事から、①7月26日（金）に慶応大学三田キャンパスにおいて陵墓関係16学協会の全体会議を行い、本年度の陵墓保全整備工事について意見交換を行った。また、中国四国前方後円墳研究会の加入について協議し、加入を承認した。②全体会議後、宮内庁との陵墓懇談を行い、中国四国前方後円墳研究会が加入し、今後は陵墓関係17学協会となることを説明した。③陵墓関係16学協会の各団体の昨年度の刊行物に掲載された陵墓に関する記事を収集し集成データを作成し配布したとの報告があり、了承された。

## 8 理事選挙制度検討小委員会の報告

水本理事から、9月18日（水）に委員会をオンラインで開催し、委員交代があったことからこれまでの経緯を確認し、理事選挙における地区割りについて協議した。今年度で委員会が小委員会の設置期限となるため、地区割りについては委員間でも意見の相違があることから、意見を集約して報告する方向性とするとの報告があり、了承された。

## 9 国際交流委員会の報告

足立理事から、8月10日（土）に委員会をオンラインで開催し、「発掘された日本列島」展から、英語・中国語・韓国語に翻訳して公式サイトに掲載する5遺跡を選考したとの報告があり、了承された。

### 報告第1029号 名義使用の後援申請に関わる承認について

山崎常務理事から、北秋田市観光文化スポーツ部観光課から観光庁地域観光新発見事業「偏愛ニッポン！まだ見ぬ『史跡（伊勢堂岱遺跡）』×『マタギの食文化』の魅力への誘い」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

## その他

### 1 「正会員入会資格基準に関する内規」に関する要望について

水本理事から、正会員の入会年齢の規定について、学生会員の学籍喪失後に正会員として入会できるまでに数年間必要なことから年齢制限についての検討要望があり、継続して審議することとした。

### 2 丸善出版からの企画打診について

石川会長から、丸善出版株式会社から学会編集による事典作成についての企画提案があるとの説明があり、出版社に詳細を伺うこととなった。

### 3 「学術論文即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」について

一瀬理事から、8月27日（月）・28日（火）の内閣府による「学術論文即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の説明会に参加したことが報告され、協会では著作権規定で1年間の公開禁止期間を定めており、現在のところ急を要す対応は必要ない旨が確認された。

#### 4 アイヌ慰霊施設における鎮魂式の実施について

宮本副会長から、(公財)北海道アイヌ協会からアイヌ遺骨及び副葬品の慰霊施設における鎮魂式を10月13日(日)に実施するとの通知があり、当会を代表して宮本副会長が参加するとの説明があった。

以 上